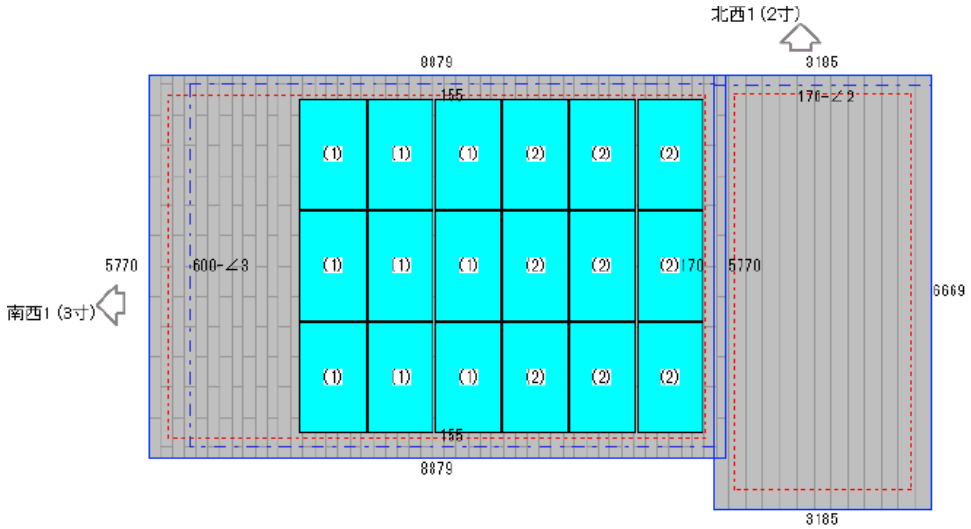
物件名	草津市木川6号地様邸	割付図・系統図	6.3	kWシステム	都道府県	滋賀県	日射量観測地点	大津

45°



No	部材名	数量
1	Q.PEAK DUO-G9 350	18
2	HQJP-MA55-4	1
3	HQJP-MUKA-4	1
4	HQJP-MC-4	1
5	HNW-MC4-CHN20	2
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

系統番号	パワーコンディショナ型式
1	HQJP-MA55-4[9、9]
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	

■注意事項
・本図面は見積作成の為、太陽電池モジュールの配列及び枚数、架台のレールの種類数量、
および、支持点数を示すものであり、実際の施工においては、現地調査で支持点の位置を確認し、
施工マニュアルに従って施工して下さい。

・各屋根材の動き流れ寸法は下記と仮定して作図しております。
実際の寸法を確認のうえ、施工マニュアルに従った施工を行って下さい。
和瓦53A:235mm、和瓦53B:225mm、平板瓦(C、D型):280mm、S瓦:260mm、セメント瓦:345mm、スレート:182mm
アスファルトシングル:143mm、金属横葺:182mm

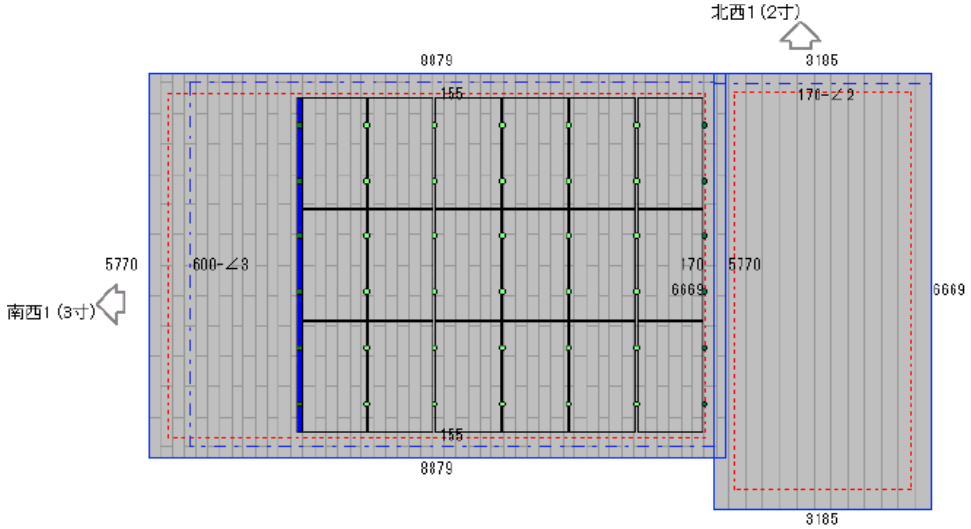
・設置可能地域であっても、錆やよごれ等による外観について保証するものではありません。
・垂直積雪量は特定行政庁の判断により更新される場合があります。設置される地域の特定行政庁への確認を必ず行って下さい。

屋根面	勾配	設置枚数	容量
南西1	3寸	18	6.3
合計		18	6.3

屋根材種類	勾配	施工レベル	積雪条件	風速条件	施工方法	面粗度区分	物件番号	RX399231024002	プラン番号	1
スレート	3寸	標準施工	30cm	32m/s	ショートラックⅣ	Ⅲ・Ⅳ	作成日	2023/10/24	設備容量	5.5
							作成者	林	設置高さ	9

物件名	草津市木川6号地様邸	架台図	6.3 kWシステム	都道府県	滋賀県	日射量観測地点	大津

45°



No	部材名	数量
1	15022001	6
2	15022003	30
3	15022004	6
4	15000482	3
5	15000492	7
6	15029101	1
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

■注意事項
・本図面は見積作成の為、太陽電池モジュールの配列及び枚数、架台のレールの種類数量、
および、支持点数を示すものであり、実際の施工においては、現地調査で支持点の位置を確認し、
施工マニュアルに従って施工して下さい。

・各屋根材の動き流れ寸法は下記と仮定して作図しております。
実際の寸法を確認のうえ、施工マニュアルに従った施工を行って下さい。
和瓦53A:235mm、和瓦53B:225mm、平板瓦(C、D型):280mm、S瓦:260mm、セメント瓦:345mm、スレート:182mm
アスファルトシングル:143mm、金属横葺:182mm

・設置可能地域であっても、錆やよごれ等による外観について保証するものではありません。
・垂直積雪量は特定行政庁の判断により更新される場合があります。設置される地域の特定行政庁への確認を必ず行って下さい。

屋根面	屋根材種類	勾配	施工レベル	施工方法
南西1	スレート	3寸	標準施工	ショートラックⅣ

屋根材種類	勾配	施工レベル	積雪条件	風速条件	施工方法	面粗度区分	物件番号	RX399231024002	プラン番号	1
スレート	3寸	標準施工	30cm	32m/s	ショートラックⅣ	Ⅲ・Ⅳ	作成日	2023/10/24	設備容量	5.5
							作成者	林	設置高さ	9

Qcells

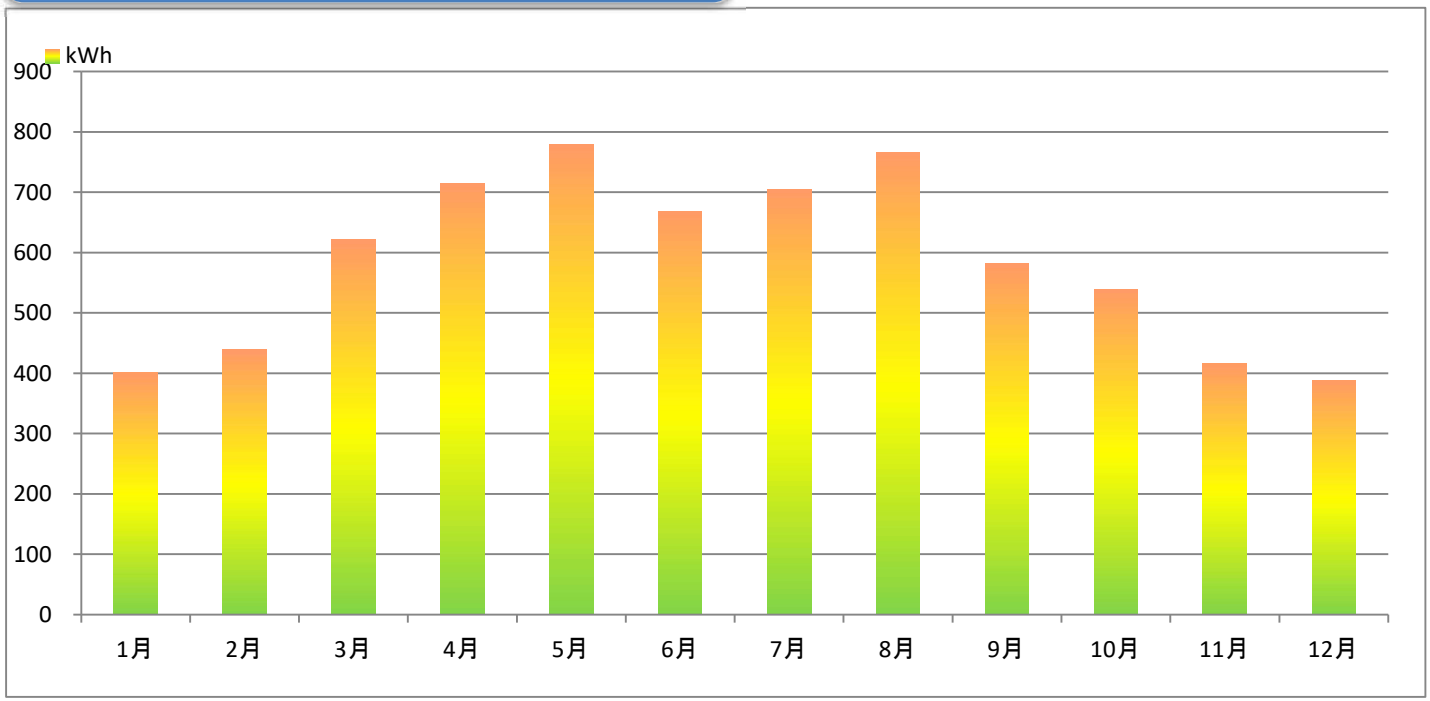
ハンファジャパン
年間発電量シミュレーション

物件番号：RX399231024002(1)

作成日：2023/10/24

草津市木川６号地様邸

積雪は考慮しております。



システム容量	6.3	kW			
年間予測発電量	7,019	kWh			
都道府県	滋賀県	日射量観測地点	大津	積雪量	30

屋根面	傾斜角度	方位角(度)	太陽電池モジュール	枚数(枚)
南西1	3寸	45	Q.PEAK DUO-G9 350	18
合計				18 枚

パワーコンディショナ	台
HQJP-MA55-4	1

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
予測発電量(kWh)	401	439	621	715	779	669	704	767	581	539	416	387	7,019

算出式

月間発電量(kWh)=太陽電池モジュール容量(kW)×月平均傾斜日射量(kWh/m^2・day)×パワーコンディショナ変換効率×太陽電池モジュール温度損失×その月の日数×その他係数*1

＊１その他係数については下記注意事項の注4を参照ください。

注意事項

注1　諸条件（気象、立地、設置条件）により、実際の発電量は大きく変動する場合があります。

注2　実際の建物に設置した場合、傾斜角・方位角・緯度・システム回路構成及び構成機器種類により発電量が異なる場合があります。

注3　メインモジュールの温度損失は12月～3月：7.8%、4月～5月:11.7%、6月～9月：15.6%、10月～11月:11.7%としています。

注4　太陽電池モジュールのポジティブトレランス、システムロス及び低照度特性等の効果を考慮しています。

・本シミュレーション結果は実際の設置時の発電量を保証するものではありません。 あくまでも目安として利用ください。

算出条件等

・公称最大出力は、JIS規格に基づいて算出された太陽電池モジュールの出力です。
(JIS標準試験条件：AM1.5,日射強度1kW/m^2,モジュール温度25℃)

・日射量データはNEDOの全国日射関連データ(1981～2009年の29年間の観測値)の日射データ、及び2015年の気象協会のデータを元に、NEDO標準気象データベース解説書による計算式より日射量を算出しています。

・実使用時の出力(発電電力)は、日射の強さ、設置条件(方位・角度・周辺環境)、地域差、及び温度条件により異なります。発電電力は最大でも太陽電池容量の70-80%程度になります。